

## 医療関連多職種間での勉強会の開催

<p>概要</p>	<p>地域において過疎化が顕著になっており、在宅での医療や介護のニーズが増加しているため、医療関係者相互が連携してニーズに対応できるようにするため、医療関連多職種間での勉強会を開催する。</p>
<p>詳細、成果など</p>	<p>【詳細】 医療関係者間での勉強会として、症例検討会及び学術講演会を定期的に行っていましたが、この度共同事業として、グループ構成員を含めて、拡大実施することとなりました。症例検討会は、病院、薬局、介護等の関係者を中心にして、患者データの共有化を図り、医療・介護等を一体的に提供できる体制の構築を図っています。また学術講演会は、外部から講師を招き、同じく病院、薬局、介護等関係者の現場での課題に関する知識の向上を図るために行っています。</p> <p>【成果】 グループ構成員が多く、一堂に会することが難しいこともありましたが、共同事業を通して、知識を共有、向上させることで、被災者への発災後の支援に役に立ったと思います。また、あわせて地域の医療関係者同士の繋がりが強化されたというメリットもありました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在は活動が制限されていますが、出来る範囲で継続して行きたいと思っています。</p> <p>【メッセージ】 被災により経済的損失を負ったグループの構成員を、補助金を活用することで、被災前に近い状況へ復旧させることが出来ました。今後も、このような勉強会を可能な限り継続していくことで、地域の医療関係者の連携を強化し、将来の災害に対して強い地域を作ることで、創造的な復興を図っていきたいと考えております。</p>
<p>実施状況</p>	
<p>グループ名</p>	<p>大洲・喜多医療機関等復興グループ</p>
<p>グループ代表者</p>	<p>一般社団法人 喜多医師会 喜多医師会病院</p>